

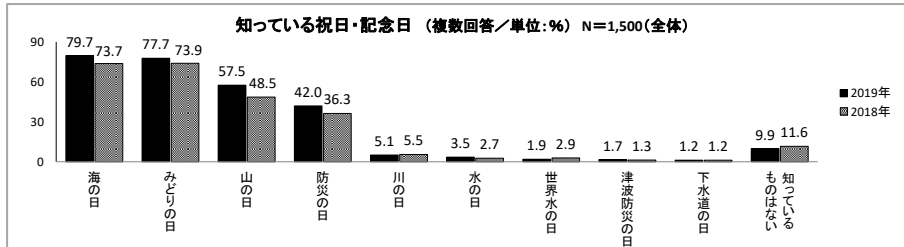
水と生活・文化

Q.知っている祝日・記念日は？（9択＋知っているものはない）

◇「山の日」の認知率が6割近くまで上昇。

昨年に続き、今回も水や自然にかかわる祝日・記念日の認知についての調査を実施しました。

結果は、「海の日（7月第3月曜日）」（79.7%）、「みどりの日（5月4日）」（77.7%）の両祝日が、それぞれ昨年からさらに数値を上げ、約8割の認知率を得たほか、今年に施行から4年目を迎える「山の日（8月11日）」は5割を超え、6割近くまで上昇しました。祝日以外の記念日では、「防災の日（9月1日）」が昨年から5.7ポイント増の42.0%と高い認知率を誇り、その他は「水の日（8月1日）」（2.7%）や「下水道の日（9月10日）」をはじめ、いずれも一桁台という傾向に変化は見られませんでした。

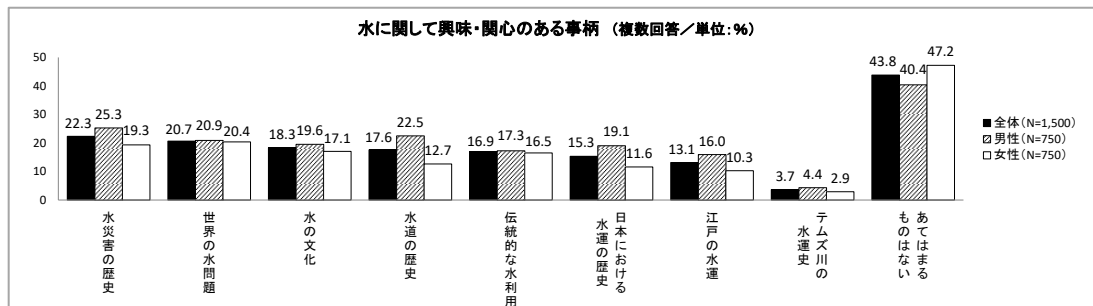


Q.水に関して興味・関心のある事柄は？（8択＋あてはまるものはない）

◇1位は「水災害の歴史」。

今回新たに、水への興味・関心の度合いを探る調査を、水に関する歴史や文化などの事柄を予め提示して選んでもらう方法で実施したところ、1位「水災害の歴史」（22.3%）、2位「世界の水問題」（20.7%）、3位「水の文化」（18.3%）となりました。

「水の文化」に関するさまざまな研究や情報交流活動を推進する当センターとしては、この結果を踏まえ、今後さらなる研究活動および情報発信を図っていくとともに、継続的な調査を行うことで動向に注目してまいります。



沖大幹先生プロフィール

沖 大幹（おき たいかん）
 東京大学未来ビジョン研究センター教授
 「ミツカン水の文化センター」アドバイザー

1964年東京生まれ。1993年博士（工学、東京大学）、1994年気象予報士。1989年東京大学助手、1995年同講師等を経て2006年より同教授。2016年より国連大学上級副学長、国際連合事務次長補を兼務。専門は水文学（すいもんがく）で、地球規模の水循環と世界の水資源に関する研究。書籍に『水の未来』（岩波新書、2016年）、『水危機 ほんとうの話』（新潮選書、2012年）など。生態学琵琶湖賞、日経地球環境技術賞、日本学士院学術奨励賞など表彰多数。水文学部門で日本人初のアメリカ地球物理学連合(AGU)フェロー(2014年)。



「ミツカン水の文化センター」と「水にかかわる生活意識調査」について

ミツカングループは1804年（文化元年）の創業以来、食酢の醸造を社業の中心としてきました。食酢の醸造に水は欠かせないものであり、ミツカングループは水の恩恵を受け、水によって育てられてきたといっても過言ではありません。それだけに、ミツカングループの水に対する関心は創業当時から一貫して高いものでありました。

1999年1月に、「水の文化」に関するさまざまな研究や情報交流活動を推進していく母体として「ミツカン水の文化センター」を設立しました。センターでは研究活動、機関誌「水の文化」の年3回の発行、ホームページでの情報提供、市民参加型イベント「発見！水の文化」の実施など、様々な活動を行っています。

「水にかかわる生活意識調査」も「ミツカン水の文化センター」の活動の一環として、センター設立前から実施しているもので、研究事業や、一般生活者の啓発活動の基礎資料として有効活用頂くことを目的としています。